



アフラック相談役

## 松井秀文

まつい・ひでふみ 昭和19年東京都生まれ。43年東京大学経済学部卒業後、川崎製鐵に入社。外資系損保会社勤務を経て、48年知人を介して知り合った大竹美喜氏とともにアメリカカンファムリー生命保険会社日本支社設立に参画。50年契約部長、56年取締役、平成4年副社長を経て、7年社長、15年から会長。この7月で相談役に。

森 信三 明治29年愛知県知多郡生まれ。両親不縁にして3歳の時、森家に養子として入籍。半田小学校高等科を経て名古屋第一師範に入学。小学校教師を経て広島高等師範に入学。在学中、生涯の師・西晋一郎先生に邂逅。のち京都大学哲学科に進み、西田幾多郎先生の講義に侍る。大学院を経て天王寺師範の専任教諭。44歳の時清洲の建国大学教授に赴任。50歳にして敗戦。九死に一生を得て帰国、58歳で神戸大学教育学部教授就任。65歳退官。70歳にして海軍女子学院大学教授に迎えられる。77歳長男の急逝を機に独居自炊の生活に入る。86歳脳血管で倒れ、平成4年逝去。著書に『修身教授録』をはじめ、『人生一度なし』『真理は現実のただ中にあり』等多数。最新刊は『修身教授録一日一言』（いずれも致知出版社刊）。

### ◎対談 松井秀文&北尾吉孝



『修身教授録』とは……  
不世出の教育者にして哲学者の森信三氏が、大阪天王寺師範学校（現・大阪教育大学）本科で行った講義をまとめた『修身教授録』（全5巻、昭和14年刊）の中から、昭和12、14年までの講義を改めて編集し、復刊したもの。人生を真剣に模索する若者たちのために説いた人生講話79編を収録（平成元年刊）。



#### 一人の生きる原点の書 『修身教授録』

北尾 あれはいつでしたか。インターネットで保険の販売をやるうという事で、アフラックさんからお話をい

平成元年の初版以来、途切れることなく静かに売れ続けている本がある。教育者・森信三氏の『修身教授録』。同書は教育界のみならず、経営者や各界のリーダーたちを魅了してきた。ともに同書を座右の書に掲げ、「人生の多くを教えてもらった」と語る松井秀文氏と北尾吉孝氏に、人生の大則の書『修身教授録』から学んだことの数々を語っていただいた。

## 「人生の大則」の書

# 『修身教授録』に学ぶもの

ただいて。  
松井 一九九九年ですね。まだ私が社長の頃で、わざわざ北尾さんに我が社まで来ていただきました。  
北尾 結局いろいろあってあの時は一緒に仕事はできませんでしたが、きょうはこうして私の座右の書である『修身教授録』についてお話ができるといので楽しみにしてきました。



SBIホールディングスCEO

## 北尾吉孝

きたお・よしとか 昭和26年兵庫県生まれ。49年慶應義塾大学経済学部卒業後、同年野村證券入社。53年ケンブリッジ大学経済学部卒業。平成元年ワックス・ペレラ・インターナショナル社常務取締役、4年野村證券部長を経て、7年孫正義氏の招聘によりソフトバンク入社、常務取締役に就任。現在SBIホールディングス代表取締役CEO。著書に『何のために働くのか』（致知出版社刊）他がある。

松井 私もです。実は今年の初め、ある経済紙から「平成十九年を展望する」というテーマでアンケートの依頼が来て、その中に「座右の書」2007年を展望する上で、参考となる書籍は？」という質問項目がありました。そこで、私はこの『修身教授録』を挙げたんです。財政がどう、国家がどうということはもちろん大事ですが、いま日本に一番必要なのは心のあり方に関わる根本的な教えなのではないかと。

北尾 いや、おっしゃるとおりです。私がこの本を初めて手にしたのは、